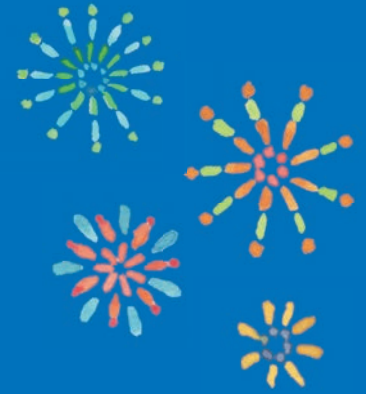


# 議会だより

第51号

発行 安曇野市議会  
平成30年(2018年)  
8月1日

特集 市民が主役!! 議会報告会 .....	2
6月定例会で審議した結果です .....	5
6月定例会で決まりました 穂高南小の耐震補強工事 .....	6
常任委員会報告 .....	8
市政のここが聴きたい!! 一般質問 .....	10
市民の声 .....	20

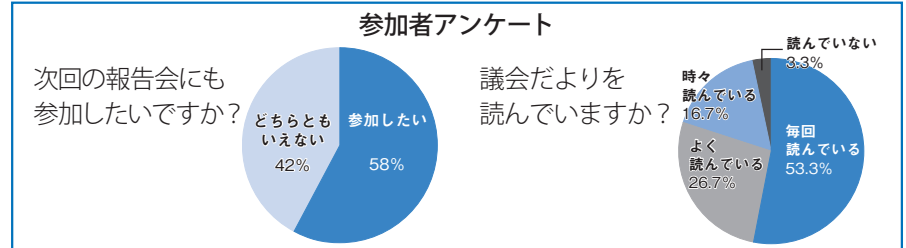


市民と市政をつなぐ  
議会報告会開催!

第五回安曇野市議会報告会  
次 第  
開 会  
主催者あいさつ  
議会報告・質疑  
三月定例会の全教について  
経済教育委員会  
経済建設委員会  
議会全教に対する質問・意見  
閉 会

# 特集 市民が主役!! 議会

# 報告会



4月30日昼夜2回市役所にて開催しました。延べ39人の市民が参加され、各常任委員会から3月定例会で議決された議案審査の経過を報告したのち、内容の質問のほかに、普段から感じている疑問や要望をお聞きしました。その要旨をご紹介します。なお、当日ご回答できなかった内容についても、あわせて掲載します。



## 議長あいさつ

第5回安曇野市議会報告会には、多くの皆さんにご参加いただき、建設的なご意見やご要望をいただき、厚く御礼申し上げます。これらの内容は、議会として真摯に受け止め、各委員会で検討させていただきました。また、重要案件は、政策討論会を開催して執行部への政策提言に結び付けていく所存です。これからも、より市民に寄り添った議会活動を目指し、ステップアップして参りますので、よろしく御願ひ申し上げます。



熱心に発言する参加者「かがやく安曇野人!」

**問** 安曇野市はなぜ人口を増やせないのか。また、少子化対策にもっと熱を入れてもらいたい。

**答** 将来負担とならないよう財政状況をチェックしながら、子育て等の支援には力を入れていきたい。また、若い人の雇用の場の確保など課題が多い。市が進めている「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿い、議会としても政策提案ができるよう長期的に取り組みたい。

**問** 保育士を非正規雇用にして人件費を削っている。削られた予算を議決している議会は問題だ。

**答** 市の財政状況も考慮し、正規・非正規雇用の効率的なバランスがとれた保育行政が進められるよう配慮していきたい。

**問** 選挙で送り出した市議会議員には、意見をどんどん言ってもらいたい。

**答** 個々の議員や党派単位での広報活動は行っている。また、自らの研鑽に努め、議会内の討論を重ねる中で資質を高めたい。

**問** 高齢者が施設へ足を運ぶための手段を真剣に考えてもらいたい。

**答** 6月には市において「安曇野市地域公共交通網形成計画」が示される。この計画内容をチェックし、今後に生かしていきたい。

**問** 友好都市に「ほりでーゆ〜」「ファインビュー室山」を売り込み、観光協定を結ぶよう行政に言い続けているが、取り合ってもらえない。議会で行政を動かしてほしい。

**答** 現在、友好都市との連携提携書には、観光の分野においても特性を活かしながら交流することがうたわれている。今後も、さらに友好都市との連携を図っていくよう、行政に働きかけていく。

**問** 以前、安曇追分駅と有明駅の駐輪場に屋根を設置する陳情を採択したが、いまだに工事の気配がない。実現まで責任を持って関係各部署に働きかけてもらいたい。

**答** 降雨時の利用者は、晴天時に比べかなり少なくなる傾向にある。JR利用者の利便性向上のために、市内にある11駅全ての実態を把握し、年次計画を立てて計画的に執行するよう要望した。

また、シェアサイクル※<sup>8</sup>ページのサイクルポートも、駅周辺に将来的には設置していく予定もあるので、あわせて検討していくよう要望した。

**問** 陳情は継続審査が3回続くと審査未了で廃案となってしまうが、県議会では何度でも審査を繰り返しているようだ。改善してもらいたい。

**答** 県や周辺自治体の様子も研究しながら、陳情や請願の扱いも含め、議会運営委員会において検討を始めた。

**問** 安全・安心パトロールに係る交付金は、各区一律8万1,900円だが、区の世帯数に関わらず一律の金額になっている根拠と、予算審議の内容を知りたい。

**答** 予算説明会では、区の安全協会や防犯組合への交付金は今年度より一括交付となったと説明を受けたが、この件に関しては特に議論されなかった。今後は予算・決算の審査を通じて事業の有効性等を検証していく。



**問** 人口が減ると市税収も減ると考えると、公債費の増加が不安だ。特に福祉には177億円投入されているのが気がかりだ。

**答** 民生費の129億9,200万円の大半は、国・県等からの交付金でまかなっている。福祉の充実が重要な課題である。効率的な予算執行を行政に求めている。

**問** 三郷西部認定こども園について、議会の中ではどんな議論がされたのか。

**答** 認定こども園の統廃合や民営化について、丁寧な説明と市民を交えた議論を深めるよう行政に強く求めた。



**問** 安曇野市観光ビジョンに議会としてどう取り組んでいくのか。

**答** 平成25年のビジョン策定時から5年が経過し、策定時にはなかった山岳観光も含めた新たなステージの展開も考えられる。今後は、定期的にビジョンを検証し、計画の見直しをしていくよう要望した。

報告事項

Table with 4 columns: Report No., Title, Result, Status. Lists 18 items including budget reports and special resolution requests.

健康・福祉

Table with 4 columns: Proposal No., Title, Result, Status. Lists 3 items related to health and welfare services.

教育

Table with 4 columns: Proposal No., Title, Result, Status. Lists 3 items related to education.

修正案

Table with 4 columns: Title, Result, Status. Lists 1 amendment proposal.

建設・水道

Table with 4 columns: Proposal No., Title, Result, Status. Lists 2 items related to construction and water supply.

陳情

Table with 4 columns: Petition No., Title, Result, Status. Lists 2 petition items.

人事

Table with 4 columns: Proposal No., Title, Result, Status. Lists 1 personnel appointment proposal.

総務・政策・財政・環境

Table with 4 columns: Proposal No., Title, Result, Status. Lists 5 items related to general administration and policy.

議案等の賛否一覧 (賛否が分かれた議案等)

○:賛成 ×:反対 欠:欠席 除:除斥 退:退席 議:議長

Large table showing voting results for specific proposals, including names of council members and their votes.

議会だより第50号(5月2日発行)9頁「一般会計予算の使い道」の掲載内容に誤りがありました。農業・商工業・観光振興・労働などに【誤】37,900円→【正】37,800円 お詫びして訂正いたします。

問 保育園や小・中学校の入学式、卒業式には、議員が地元だけでなく広く市内の学校等に行った方がいいと思うがどうか。

答 各地域とのつながりもあることから、教育委員会や議会事務局とも相談していきたい。



問 分譲地に敷設される下水道管工事費用を不動産屋が負担するのは理不尽ではないか。議会で取り上げ議論してほしい。

答 現行制度では、開発業者(申請者)の負担となっているが、すでに下水道に接続している人との公平性の観点からやむを得ないと思われる。また、現行制度においては受益者負担金を減免する制度があり、負担軽減を図っている。

問 住宅購入費の助成は、過疎地域に住もうとする人にこそ必要ではないか。市街地より周辺の活性化を図るといふ視点で審議してほしい。

答 拠点地域等住宅購入助成費用は、市の将来のあり方に誘導するための制度なので、現行制度を維持しながら、田園環境区域で農業を希望する移住者に関しては、担当課に新たな補助制度や施策の検討を要望したい。

問 高校の統廃合は、中信地区では、松本工業・南安曇農業・穂高商業・池田工業等が統廃合の危機にある。少子化の影響はあるが、子供たちの育成のために残していけるよう、市議会としても県へ要望してほしい。

答 学校の状況は様々だと感じているが、市内の高校の存続については、働きかけを強めていきたい。

問 ふるさと納税による収入を増やすための議論をしてもらいたい。

答 総務省から返礼品の額について3割を超えないことや、地元農産物に限る等の通達があったが、議会としては現行の市の取り組みを後押ししていきたい。

問 市の財政(人件費の削減、借入金等)に関する市議会の認識は。

答 予算・決算の審査並びに財政計画・人員適正化計画など、議案審査や一般質問を通じてチェックしていく。

問 議会報告会の広報が不十分ではないか。

答 開催時期を早めに決め、議会だより、ホームページ、マスコミ等を通じて大勢の人に参加を呼びかけていく。

問 配布資料の工夫を望む。

答 写真やグラフを取り入れて、わかりやすい資料となるよう努力する。

その他、市長や行政への要望を紹介します。

- List of requests to the Mayor and Administration, including safety, support for agriculture, and environmental measures.

平成30年6月定例会が6月3日から26日まで開催され、平成30年度補正予算を含む議案16件（修正案1件含む）、陳情2件を審議しました。

# 6月定例会で

# 決まりました

主な議案等を紹介します

- ・全議案の審議の結果 →5ページ
- ・議案ごとの賛否 →5ページ

参照

## 補正予算 審議



公立認定こども園全園でも取り組む自然保育

### 議案第60号 平成30年度安曇野市一般会計補正予算（第1号）

可決

#### ①シェアサイクル事業 50万円

県の元気づくり支援金を受け、観光協会が実施。観光客の2次交通としてシェアサイクルを走らせます。

**問** 道路整備が不十分な中で、事業を始める意味は何か。また、民間業者を圧迫しないのか。

**答** 市の観光は日帰り客が8割。2次交通を拡充し、安曇野の魅力を体感する滞在周遊型観光メニューとして、シェアサイクル事業の実証実験をするために導入する。また、既存レンタサイクル事業者も計画の段階から先進地視察に同行するなど検討してきた。その後も連携を深める。

#### ②「子育てと教育を考える首長の会研究会」の開催 50万円

**問** この研究会がなぜ安曇野で開催されるのか。また、本市の自然保育の普及やアピールをどう進めるのか。

**答** 今回のテーマは自然保育。当市は信州やまほいく制度を県内でいち早く取り入れ、公立認定こども園全園で認定を受け積極的に取り組んでいる。また、特化型を実践する民間事業者もあり、県から開催の打診があった。研究会の開催により、全国の自治体に本市の取り組みを紹介することで、関心を持ってもらえる。一般公開のプログラムもあるので、市民にもPRする。

#### ③穂高南小の耐震補強工事 5,515万6千円

耐震化の再診断及び追加補修に係る経費の増額

## 条例 改正

### 議案第53号 安曇野市税条例の一部を改正する条例 生産性向上特別措置法の制定に伴い、市の税条例を変更します。

可決

**問** この条例改正は市内企業にとって有益なものになるのか。

**答** 生産性向上のための設備投資をする市内中小企業、小規模事業者は、該当の償却資産の固定資産税をゼロとする特例を受けることができる。

## 条例 改正

### 臼井吉見文学館を直営に

議案第57号  
臼井吉見文学館条例の一部を改正する条例  
指定管理制度による民間運営から、新しく始まる文書館と合わせて市の直営になります。

可決

**問** 文書館と文学館は性質がちがう。一緒にして運営できるのか。実際に来館者があった場合はどうなるのか。

**答** 文書館の業務として先人の顕彰を行う予定。臼井吉見についても同様に行う。また、文書館には学芸員が配置され、今までできなかった学芸活動も期待できる。2つの館の持つ機能を有効に活用する。来館者はインターフォンを鳴らすと、文書館の職員が開場して案内する。

## 議員発議 による 修正案



臼井吉見の顕彰を

### 提案説明

臼井 泰彦 議案第57号の条例改正では、休館日を文書館に合わせて土曜日と休日としているが、土曜日の入館者が一番多く、休日と合わせると全入館者の3分の1になる。休館日を市の他の博物館や美術館等に合わせ、土曜日と休日を閉館とする案である。

### 反対の意見

山田 幸与 これまでに審議会や教育委員会で十分な審議検討を行った結果として提案されたものである。隣接の文書館と一体管理することで施設利用料が無料となる等、サービスも向上する。このため、休日を合わせる必要があり、利用者への周知で対応可能と考える。

### 賛成の意見

猪狩 久美子 安曇野市を代表する作家臼井吉見を顕彰する文学館。一般市民や市外からの来訪者のために土日開館が基本。土曜日に入館できないのでは、安曇野市のおもてなしの心が疑われる。

### 反対の意見

遠藤 武文 土曜日でも来場者実数はそれほど多くなく、臼井吉見文学館は観光施設として十分な実績を上げていない。市の文化振興をどうすべきかを考えれば、今は文書館に一体的に管理を委ね、いずれ新市立博物館に統合し、臼井吉見を顕彰するという理念を守り続けることが最善。

### 賛成の意見

井出 勝正 全国の臼井吉見文学を愛していこうとする人たちが、土日を使つての旅行者に、文学館を利用できるようにしたい。

### 反対の意見

松枝 功 運営の合理化と利用者の利便、どちらを大切にするのか悩ましいが、先人たちの顕彰を短中期的には文書館で、長期的には博物館でしようとする市の戦略は理解でき、当面は現場がやりやすい体制となるように応援したい。

条例改正による  
休館日の変更

現在の休館日は、月曜日（祝日の場合はその翌日）および12月28日から1月4日までですが、条例改正により、平成31年4月1日からは、土曜日と祝日および12月29日から1月3日までとなります。

福祉教育



福祉教育委員会では、付託された平成30年度安曇野市一般会計補正予算（第1号）を含む議案7件と陳情2件を、6月20日に審査しました。

議案名や本会議での議決結果等→ 5ページ・6ページへ

議案第57号

臼井吉見文学館条例の一部を改正する条例



これまで指定管理によって管理されていた臼井吉見文学館について、平成31年度から市教育委員会の直営とし、隣接する文書館と一括で管理運営することになります。

反対の意見

猪狩 久美子 独自調査では、文学館の入館者の約3分の1が土曜日と祝祭日に来館していて、市内の他の美術館、資料館等は月曜日が休館日となっている。遠方からの来館者を考え、土曜日を閉館すると定めたこの条例には反対する。

賛成の意見

中村 今朝子 休館日の変更については周知が必要だが、文学館を指定管理から直営にすることでメリットは大きいと認識し、この条例改正には賛成する。



臼井吉見文学館

陳情第3号

長野県池田工業高校への支援に関する陳情



ものづくり人材を養成する池田工業高校への支援と、当該高校を後押しする団体への協力を求める陳情。

意見として

- 池田工業高校は地域のものづくり活性化のためにも大切な高校だが、具体的にどのような支援が必要なのかわからない。
- 少子時代の到来で、高校再編は市内の4高校にも大きな課題である。池田工業高校も含め、バランス良い支援が必要だと考え、さらに詳しく研究する必要がある。



池田工業高校

陳情第4号

家庭教育支援法の制定を求める意見書提出の陳情



教育における家庭の果たす役割と責任についての啓発などが主旨の「家庭教育支援法」制定のための意見書を、国に提出してほしいという陳情。

意見として

- 陳情の趣旨は理想だと感じるが、家庭教育の充実にはお金をかけさえすればよいのか疑問である。
- 現状では、制定を求める法律について、その骨子、内容が具体的に理解できず、時間をかけて研究するべきではないか。

総務環境



総務環境委員会では、付託された平成30年度安曇野市一般会計補正予算（第1号）を含む議案5件を、6月19日に審査しました。

議案名や本会議での議決結果等→ 5ページ・7ページへ

議案第53号

安曇野市税条例の一部を改正する条例



生産性向上が見込める先端設備を導入した中小企業に対し、向こう3年間当該固定資産税が減免されます。

問 先端設備の内容は？

答 生産効率、エネルギー効率、精度その他の生産性の向上に資する指数が年平均1%以上向上すること等が条件で、機械および装置、器具および備品のほかに、工具、建物の付属設備、ソフトウェアも含まれる。

議案第54号

安曇野市廃棄物の適正処理及び生活環境の保全に関する条例の一部を改正する条例



野焼きの抑制やごみの減量化のため、木くずおよび木質系粗大ごみの受け入れを豊科リサイクルセンターで10月1日から開始します。

問 今まで剪定枝などは、適正に切って縛って出していたが、変わるのか。また、廃材などにくぎ等が混ざっている場合が考えられるがチェックはされるのか。

答 持ち込む場合は、袋に入れる必要はなくなる。ひも等で縛っていただくか箱などに入れ、ばらけないように出してもらえばいい。鉄類などの不純物はできる限り除去してもらうが、限界はある。選別はするが、チェックする人的措置は行う。

経済建設



経済建設委員会では、付託された平成30年度安曇野市一般会計補正予算（第1号）を含む議案3件を、6月21日に審査しました。

議案名や本会議での議決結果等→ 5ページ・7ページへ

議案第60号

平成30年度安曇野市一般会計補正予算（第1号）



新規事業 シェアサイクル※  
自転車置き場を設置し、必要な時に自転車が借りられ、自由に返却できるシステムです。8月上旬から実証実験を開始する予定です。

※シェアサイクル…複数のサイクルポート（自転車置き場）を設置し、必要な時に必要なタイミングで自転車が借りられ、返却できるシステム。



清政会 山田 幸与

### 再配置や民営化を反映した財政計画の策定を



問 現財政計画では、平成33年度以降に具体的な計画が記載されているのか疑問である。そこで、合併特例債活用などを反映した、将来的な財政計画をまとめるべきと考え

るが、また、合併特例債の発行期限が、今国会で5年間延長することが決定されたが、考えは。

市長 人口減少時代に向け、効率化やスリム化など予算規模の縮小に努め、見直し、縮減方針は計画どおり進めるべきと考える。特例債は趣旨に合致した利用を前提に、一般財源の確保および財政負担の軽減を図る取り組みを慎重に検討してい

市長

経営戦略による財政計画により、現在の料金体系で維持管理を行っていく。維持管理上の課題として、いる明科地域の処理場施設（農業集落排水施設など5カ所）の統廃合は、県との調整等を進め、今後、具体化を図る。

### 下水道事業の課題

するため、再配置計画に沿った認定こども園のあり方を考えていく。

### 問

下水道事業会計への平成30年度繰出額は、21億9千万円。企業会計財務分析により、今後の料金や維持管理費をどう見込んでいくのか。



清政会 一志 信一郎

### 「安曇平眺望を夢の城で」岩原城の復活を



問 岩原城は堀金岩原地籍の標高953mの山城で、室町時代に築

城。麓には、安楽寺・大同寺跡があり、富士山・浅間山・戸隠連峰を望める。岩原区を中心に県の「地域発元気づくり支援金」事業を活用し、遊歩道の整備を実施している。後継者世代の育成を念頭に末永く活動していく計画である。「地域の宝」として後世に受け継いでいくことの大切さを考え、活動を行っている。今後の取り組みを伺う。

### 教長

戦国時代の貴重な文化財だ。遊歩道や解説板を設置し、年間を通じてルートが確保された。公民館のトレーニング講座が約90名で開催された。今後は、遺跡の保護協議や周辺の自然・文化・歴史を学ぶ機会の創出、山城や居館に関する展示や講座、講演等や健康・体力づくりを兼ねた自然観察会等の企画を考えたい。



農業集落排水 川西浄化センター

問 戦国時代の重要な位置を占めていた歴史的経過と現在における数々の史跡の価値等を解き明かすことが大切である。今後の整備と学習



岩原城址を望む



清政会 竹内 秀太郎

### 待機児童ゼロを目指した市の施策を問う



問 本市でも平成30年度に初めて待機児童が出た。安曇野で子育てを考

えていた人への影響のみならず、本市のイメージへの影響も大きい問題である。待機児童に対する認識を伺う。

市長 待機児童が出たことは非常に残念に思う。民間活力を導入して、3歳未満児が利用できる施設整備を進めてきたが、利用希望者の急増に追いつかなかった。

問 潜在的待機児童への対応について伺う。

福祉 平成28年度はゼロだったが、29年度は27人、30年度は77人となっている。3歳未満児の保育ニーズの急増にスピーディーに対応するため民間活力を導入し、小規模保育事業を積極的に推進していきたい。また、新たに建設している認定こども園等についても、未満児保育の施設整備の拡充を図っている。

### あづみ野産業団地の拡張を

問 新たな雇用の確保と自主財源の確



拡張計画が検討されているあづみ野産業団地 (2007年9月撮影)

保につなげるため、あづみ野産業団地の拡張を提案してきたが、その後の取り組みと見直しについて伺う。

市長 企業の情報を収集する中で、特例措置を逃すことなく取り組むよう指示している。引き合いの企業は数社ある。大変有効な場所である

ことから考えているので、できることなら促進したい。

### 【その他の質問事項】

○「あづみん」の運賃見直しを

○入浴料金割引券交付事業の改善

○財政健全化と公共施設の縮減



清政会 宮下 明博

### 移住定住促進のための行政の役割



問 移住定住の促進には企業誘致が必要だ。市は地域未来投資促進法を

活用する方向で国の同意を受けた。民間と行政の役割はどうか。

商工 市が地主や進出予定企業の仲介役となる必要があると考え、庁内にプロジェクトチームを結成し、検討していく。

問 官民一体となって企業誘致をして移住定住者を増やし、よりよい安曇野市になることを願うが。

市長 自然環境を活かしながら、田園産業都市にふさわしいまちづくりを目指したい。

市長 明科地域には総合福祉センターもある。再配置の視点からも条例を戻すというのは困難である。譲渡については様々なケースを想定し、市民の意見も聞きながら検討したい。

### 長峰荘の位置付けと存続に向けて

問 長峰荘の指定管理が1年間延長され、説明会が5月20日から始まった。廃止ありきの説明会では納得できないが、見解は。

市長 長峰荘の経営状況や市の財政面と公共施設再配置計画を踏まえ、持ち続ける難しさを説明しつつ、廃止ありきではなく、譲渡という道もある。



長峰荘から見た景色

※各議員のQRコードから一般質問の録画放送にリンクできます。ぜひご利用ください。(スマートフォン等でのご利用にはパケット通信料がかかります。)



公明党  
中村 今朝子

### 障がい児・障がい者 支援の充実を



**問** これからの障がい児・障がい者福祉について、見解を伺う。

**市長** 専門職を配置して相談支援体制の機能強化を図っている。全ての人が障がいの有無にかかわらず、お互いの個性を尊重しあい、安心して豊かに暮らせる共生のまちを目指している。

**問** 放課後児童クラブで重症心身障がい児や医療的ケア児を受け入れる体制づくりはできないか伺う。

**教部** 認定こども園において医療的ケアを行っている園児がいる。小学校入学の際、児童クラブの利用希望がある場合は、環境整備や受け入れ可能かを含め検討していく。

**問** 発達障がい児は早期発見し、適切な療育や訓練によって症状を改善し、社会へ対応する力を伸ばすことが大切。5歳児健診で多くの軽度発達障がい児や軽度精神遅滞児を発見できる可能性があるとのこと。本市においても5歳児健診を行うよう要望するが。

**福祉** 3歳児健診をしっかりと行い、認定

こども園やあづみっこサポートルームの見守りの中で、必要な支援をしていきたい。

**問** 読むことが困難な児童生徒に向けての音声教材・デイジー教科書の導入を要望するが。

**教部** 交流学習センター、図書館、学校等での使用について研究していく。

**問** 聴覚障がい者の耳マークを、利用者がひと目でわかるように示すことを要望するが。

**福祉** 本庁、支所ともにわかりやすいよう掲示する。

【その他の質問事項】  
○セカンドブック事業について



耳マーク

**問** 平成28年度の計画には三郷西部・東部認定こども園は新設とあったが、民営化実施計画や中長期ビジョンの中で外された。すでに建築されたか、されようとしている16園と比べ、これは差別ではないか。

**市長** 差別とは考えていない。西部、東部も場所の選定や民間の保育園の運営もあり、形態や児童減少、地域の状況変化を踏まえ計画を見直している。建て替えは民営化も含め検討しなければならぬので、決して差別ではない。

**問** 三郷交流学習センターは地域審議会の答申に反し、合併特例債の延長があるから旧支所を壊し建設された。有利な起債といってきた合併特例債を使つて建てるべきでは。

**市長** 支所は老朽化もあり、後年度負担軽減の観点から特例債を活用した。延長はビジョン策定後のことであり、慎重に検討していく。

**問** 国の補助を利用し、財政調整基金を公共施設整備基金に移す等して、西部、東部を建設したらどうか。

**市長** 支所は老朽化もあり、後年度負担軽減の観点から特例債を活用した。延長はビジョン策定後のことであり、慎重に検討していく。

**問** 国の補助を利用し、財政調整基金を公共施設整備基金に移す等して、西部、東部を建設したらどうか。



日本共産党  
安曇野市議員  
井出 勝正

### 保育環境整備の財源に 国庫補助の研究を



**市長** 調整基金の変換は考えていない。西部を複合施設化したらどうか。

**問** 西部を複合施設化したらどうか。多額の投資になり、慎重にならないを得ない。

### M社の「著しい被害」で反問

**市長** 井出議員は、「著しい被害の可能性がある」と捉えているのか。

**井出** 著しい被害が起こる可能性がある、判決から読み取った。逆に、判決には否定しきれないともあるが、市長の考えは。

**市長** 一番判決の通り。可能性の根拠は。

**井出** 原告団の地道な調査研究活動。判決にある処分量が少量のためだ。



卒園おめでとう(三郷東部認定こども園)



清政会  
林 孝彦

### グローバルな視野を持った 人材育成の促進を



**問** 促進の目標と取り組みは。

**市長** ホームステイ事業は継続実施する。ユネスコスクールへの加盟を。コミュニティスクール事業と連携も。

**教長** 豊科南小学校が加盟の申請手続中。地域と結びついた教育活動も。

**問** 早期英語教育の機会提供と訪日外国人に対応できる人材育成促進を。

**教長** 小学3〜6年でイングリッシュ・ドイツを予定。中学では放課後学習支援で英語学習。全中学で英語課外授業を実施。語学教室は研究中。インバウンド対応セミナー・おもてなし英会話レッスン、グローバルおもてなしセミナーを開催した。ルおもてなしセミナーを開催した。

**問** 全ての人とともに生きる多文化共生推進計画の策定を。日本語教育の充実と多文化施策懇話会設立も。

**総務** 第3次安曇野市男女共同参画計画を策定。多文化共生の推進も。外国住民との懇話会などを模索する。

**教長** 外国人対象の日本語教室は4カ所。豊科北小学校に日本語教室。他にコミュニティスクール事業で支援。

### 信州花フェスタ2019と安曇野市 緑の基本計画の実現による緑輝く まち・安曇野の促進を

**問** 促進の目標と取り組みは。

**市長** 身近な緑への関心を高めてもらう。安曇野ふるさとみどり基金の創設。屋敷林・社寺林の保全に期待する。

**問** 緑の市民ボランティアの参加を。

**建設** 安曇野フラワーサポーターズに。花庭や家庭菜園のせんげ畑や屋敷林などを巡るオープンガーデンを、安曇野らしさ・ブランドとして。

**建設** 安曇野満喫見どころツアーを計画。人々の連携の情報提供に努める。

**農林** 農地全体の保全を図っていく。



信州花フェスタ 2019 の開催 PR の花壇  
(市役所東側)



政和会  
遠藤 武文

### 子どもの権利相談室を 検討して欲しい



**問** 子ども支援センターやチャイルドラインにコンタクトした児童・生徒が本市にどの程度いるのか。

**教部** 利用者数の把握はしていない。

**問** 長野県弁護士会は、基礎自治体の子供の相談・救済のための公的第三者機関を持つべきだと主張している。本市には必要ないか。

**教部** 学校教育課に教育相談室、生涯学習課に青少年センターを設置している。第三者機関は設置せず、現在の体制で悩みの解消に努める。

**問** 子供を権利の主体者とするに反対する声が少ない。産経新聞は支援は指導の否定につながる、血まみれになるまで殴っても体罰は必要だと言う。日本会議の中にも同様の声がある。子育て支援をしても、子供の支援をしないと云うのなら、本市はこれらと同じスタンスか。

**福祉** 子供の人権を認めないという施策を打っているつもりはない。子供にとっての最善策は何かを第一に考え、子供の権利の視点上に立つた



子どもの権利相談室は世の趨勢

※一般質問の詳細は、安曇野市議会ホームページまたは図書館に会議録があります。ご覧ください。(会議録作成には定例会から2カ月ほどかかりますのでご了承ください。)

★答弁者の表記★

市長→市長 副市長→副市長 教育長→教長 総務部長→総務 政策部長→政策 財政部長→財政 市民生活部長→生活 福祉部長→福祉  
保健医療部長→保健 農林部長→農林 都市建設部長→建設 商工観光部長→商工 上下水道部長→水道 教育部長→教部



政和会  
小林 陽子

### 将来展望人口の実現に向けた取り組みを問う



**問** 市の合計特殊出生率は1・44で県内19市で17番目。分析・評価は。今はプライバシー問題等で難しい。平成27年策定の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では2040年に8万3千人維持が目標だが、現実は大変困難だ。とりあえず、4つの基本目標を掲げ進めている。政策 既存の支援策に加え、若者の移住・定住促進等もあわせて対策予定だ。

**市長** 昔は周囲が会いを世話したが、今はプライバシー問題等で難しい。平成27年策定の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では2040年に8万3千人維持が目標だが、現実は大変困難だ。とりあえず、4つの基本目標を掲げ進めている。政策 既存の支援策に加え、若者の移住・定住促進等もあわせて対策予定だ。

**問** 市の財政健全化のため、公共施設再配置計画は大切。一方で行政側だけで策定し、個々の施設の方性が市民と共有できていない。サービスの代替など市民目線で丁寧に対応すべき。「ハードからソフトへ」を掲げ3選した市長の責務では。

**市長** 長峰荘と穂高プールでは丁寧な説明、対話に努める。

**保健** 不妊治療等の支援の取り組みは。不妊・不育治療は補助率3分の2、上限30万円である。

**教部** 穂高プールでは代替3案を検討したが、各案課題があり困難。説明会での市民の意見や施設の利用状況等から今後の運営を判断する。

**総務** 職員の定着状況については。平成25年度から5年間で140名採用し3名が退職した。定着状況は比較的良好と考ええる。

**問** ①就労支援について。②イクボス・温かボス宣言の効果は。

**福祉** 商工会青年部に委託している。婚活イベントや相談等で、県内トップクラスの成果がある。

**総務** 職員の募集や定着のための試みは。職場説明会、インターネットによる情報発信、インターンシップ(平成29年度は20名受け入れ)を実施。また、併願を避けるため、県や近隣市と同一試験日としている。

**総務** 平成28年4月1日施行の女性活躍推進法に基づく行動計画で平成29年度は106名利用。②男性職員2名が育休を取得。

**問** ①家族介護に合い休暇制度を平成29年度に106名利用。②男性職員2名が育休を取得。

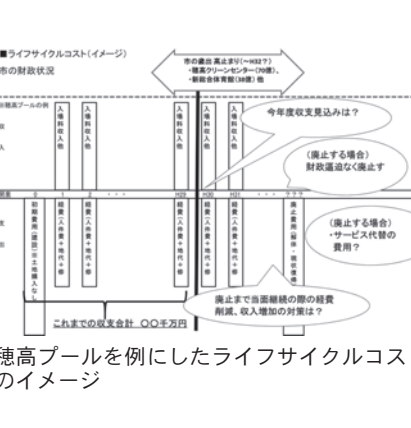
**政策** 民間活力の活用、結婚後の生活支援なども含めた、総合的な結婚支援策を福祉部と協議を始めた。

**総務** 職員の募集や定着のための試みは。職場説明会、インターネットによる情報発信、インターンシップ(平成29年度は20名受け入れ)を実施。また、併願を避けるため、県や近隣市と同一試験日としている。

**総務** 平成28年4月1日施行の女性活躍推進法に基づく行動計画で平成29年度は106名利用。②男性職員2名が育休を取得。

**問** ①就労支援について。②イクボス・温かボス宣言の効果は。

**公共施設再配置計画の進め方**



**総務** 平成28年4月1日施行の女性活躍推進法に基づく行動計画で平成29年度は106名利用。②男性職員2名が育休を取得。



新任主査研修会の様子



公明党  
小松 芳樹

### 道路の陥没のおそれを防ぐには



**問** 圃場整備が終わり20年以上経過した場所では、道路の下部を横断している暗渠の耐久性に問題があるのか、道路が大きく下がっている場所が多く見受けられる。放置すると、道路が陥没し大変危険だ。計画的に調査をする必要があるが。

**問** 道路を走行しながら空洞調査ができる業者があるが、委託して調査する必要があるのでは。

**問** 平成31年3月31日までに、安曇野市公共施設再配置計画基本方針に沿って民間譲渡ができるのか。平成30年12月定例会までに、長峰荘廃止条例等を提出して普通財産等にすする手続き等をしなければならぬ。この見通しについて伺う。

された。宿泊施設のビレッジ安曇野は、昭和62年の建設で、30年以上が経過して老朽化が進んでいる。市としては、必要な改修工事を実施している。安曇野の里は地元重柳地区の皆さんとの連携体制により、長年にわたり各種農業体験や都市との交流促進事業などを展開している。重柳地区の皆さんの意見を十分に聞きながら、市としての方針決定をする必要がある。その方針結果に基づき、今後対応していく。

**農林** 危険性が確認されれば、小規模工事に限っては市内建設業者に補修を依頼している。比較的規模の大きな施設については、県営・団営土地改良事業により交付金を活用し施設の更新を実施している。今後はインフラ長寿命化計画に基づき個別施設計画を策定し、計画的に更新をしていく。

**建設** 県において本市内で調査をすると聞いている。その調査結果を注視していきたい。それまでは、市民が道路や公園で破損が発見された場合、スマホを利用した「情報通報システム安曇野」があるので、有効活用していきたい。

**市長** 条例の提出時期については、明科の皆さん方の意見も聞きながら調整を図りつつ、しかるべき時期に、条例(改正案)を提出していく。

された。宿泊施設のビレッジ安曇野は、昭和62年の建設で、30年以上が経過して老朽化が進んでいる。市としては、必要な改修工事を実施している。安曇野の里は地元重柳地区の皆さんとの連携体制により、長年にわたり各種農業体験や都市との交流促進事業などを展開している。重柳地区の皆さんの意見を十分に聞きながら、市としての方針決定をする必要がある。その方針結果に基づき、今後対応していく。

**水道** 劣化した箇所を発見した場合には、早急に修繕を実施するよう努めている。今後も職員によるパトロール

**政策** 公共交通ネットワークを市民のために、持続可能なものにしていくことを考えていきたい。

**問** ビレッジ安曇野はリノベーションを必要とする。関連して周辺整備もする必要はある。どのように考えるのか伺う。

された。宿泊施設のビレッジ安曇野は、昭和62年の建設で、30年以上が経過して老朽化が進んでいる。市としては、必要な改修工事を実施している。安曇野の里は地元重柳地区の皆さんとの連携体制により、長年にわたり各種農業体験や都市との交流促進事業などを展開している。重柳地区の皆さんの意見を十分に聞きながら、市としての方針決定をする必要がある。その方針結果に基づき、今後対応していく。

**水道** 劣化した箇所を発見した場合には、早急に修繕を実施するよう努めている。今後も職員によるパトロール



通報後、緊急修繕された道路

**農林** ビレッジ安曇野を核とした安曇野の里のうち一番古い施設は、安曇野ガラス工房で、昭和59年に建設



リノベーションを必要とする「ビレッジ安曇野」

※各議員のQRコードから一般質問の録画放送にリンクできます。ぜひご利用ください。(スマートフォン等でのご利用にはパケット通信料がかかります。)







日本共産党 安曇野市議員 猪狩 久美子

認定こども園の民営化は



問 認定こども園の民営化については、市長はよく民の力を借りて、と言っているが、民の力とはどんなものか。行政にはないものか。

市長 民の知恵と力を活用するということは、協働のまちづくりに通ずる。多様性のある教育・保育環境を整えていくためには、民間のノウハウが欠かせない。

問 どういった部分が、行政ではできない部分なのか。

市長 小規模保育園建設等では、民がみずから用地を確保し、国の制度を活用した。官が実施するよりも財政的に将来負担が少なくて済む。民でなければできなかったことだ。

問 市では10年後に子供が579人減るとのことだが、減少に歯止めをかけたのか、対策をとっていても減少するから、民の力を借り、民営化や統廃合を進めるのか。

福祉 今後は親となる世代の人口も減り続ける。特化型の保育を行っている民間の力を借りて強力に地域を活性化していきたい。民間の保育



園進出により、競争力が生まれ質の高い保育環境ができていく。穂高プール存続について

問 今後市民あるいは利用者から意見を聞くというが、意見によっては存続もありえるのか。廃止という基本的な考えは変わらないのか。教長 今回の説明会の意見とシーズンを始まってからの利用者アンケートを踏まえて、今後の方針は決めていく。



政和会 松枝 功

合併特例債の借入期限 延長への対応は



問 合併特例債の借入期限が、平成32年度から5年間延長され37年度までとなった。市の33年度以降の借入可能額はいくらか。

財政 32年度までに建設事業分は約364億円を活用する予定で、その後の借入可能額の残額は94億円程度。

問 合併当初、特例債は借金であり、国の交付税措置も信用できず、将来に禍根を残しかねないとの声も多かった。合併から13年、実際の償還や交付税措置の状況は。財政 特例債は、公債費の平準化も考え原則10年での借り入れ。交付税も確実に70%が措置され、安定的に償還を行ってきている。

問 心配もしたが、現在の状況は「概ね安心できる未来」だったということでは。特例債を慎重に運用してきた市には今回の5年延長は大きい。財政計画や、やや重く感じられる市長公約の「ハードからソフトへ」も、見直しが必要では。財政 大きな環境変化であり、速やかな財政計画の見直しが必要。

市長 ハードへの対応は、冷静かつ慎重な判断が必要。財政計画見直しの中で、負担の軽減が図れる取り組みを中心に特例債の活用を図りたい。

市長 長峰荘については民間譲渡を模索することだが、市にはトマト栽培施設の民間譲渡という好例がある。この経験を活かし、市民が安心できる取り組みを願う。

市長 存続を願う会等の方々とキャッチボールしながら、前向きに検討したい。譲渡の場合の条件整備等は担当に指示している。



3月にしゅん工した三郷北部認定こども園建設財源の54%（約4億6,500万円）は合併特例債



清政会 召田 義人

「学びの改革」 高校再編は?



問 市内にある高校について、どのような考えを聞きたい。

市長 それぞれの学校が地域とのかかわりを深く持っており、各校とも特色のある教育とともに、市内で活躍するすぐれた人材の育成を担ってらっしゃると捉えています。一方で高校の再配置は地域のバランスが絡む問題で、非常に難しい問題であると認識をしています。

問 市内4校のあり方について伺う。市長 市外から通う高校生も安曇野市にとって大切な存在であると捉え、高校生の力やアイデアもこの地域のために発揮してもらいたいと願っている。また、さまざまな事業を高校と協力していきたいと考えている。

問 4校の校長との意見交換について聞きたい。教長 高校でも特別な支援を要する子供たちが大変増えている状況である。専門性の高い情報がぜひ欲しいというところで、中学校との連携を一層深めていきたい。



地域とともに活動する高校生

問 市との連携について聞きたい。教部 南安豊農業高校とはすでに協定を締結していて、穂高商業高校とも地域の活性化と商業教育の充実のために協定を計画している。教部 地域協議会の設置について伺う。教部 将来を見据えた高校の学びのあり方と具体的な高校の配置について、県教育委員会に対して意見提案を行う協議会の役割は大変重要であり、市村長、教育長等で構成される旧11通学区への設置時期は未定。

政務活動費収支報告

～1人月額7,500円 その使い道は～

平成29年度(平成29年11月～平成30年3月)政務活動費の実績 (単位:円)

Table with 10 columns: 区分, 清政会, 政和会, 日本共産党安曇野市議員団, 公明党, 小林純子, 平林 明, 増田望三郎, 合計. Rows include 収入 (交付額, 調査研究費, 研修費, 資料作成費, 資料購入費, 広報費, 広聴費, 会議費, 要請・陳情活動費, 事務費, その他) and 支出 (返金額).

議員の調査研究や研修等のために必要な経費の一部として、会派または議員に対し、一人当たり7,500円(年額9万円)を上限に政務活動費を交付しました。平成29年度政務活動費の収支報告書は安曇野市のホームページで公表していますので、ご覧ください。また、議会事務局でも閲覧できます。なお、平成30年4月より政務活動費の上限が一人当たり月額1万円(年額12万円)となっています。



QRコードから議会ホームページへ

※各議員のQRコードから一般質問の録画放送にリンクできます。ぜひご利用ください。(スマートフォン等でのご利用にはパケット通信料がかかります。)

# 市民の The Voice 声



ちゅういちろう  
落合 忠一郎さん  
(明科)

## 里山再生へのとりくみ

### 平成25年頃

明科七貴荻原地区に植えられた多くの松の木

が茶色に変色してきました。押野山の松も枯れ、枯れ対策が叫ばれる中で、更新伐事業（枯れた松を伐採し、広葉樹を中心とした新たな森林に更新する事業）の取り組みが下押野地区、隣区の中村地区で始まっていました。私たち荻原地区は、平成25年5月に区の役員、地権者に呼びかけ、中村地区の更新伐事業の現地視察を実施し、枯れた松の処理、薪まきに使える松の区別、将来の森林のあり方等参考にさせてもらいました。更新伐事業は市議会でも議論され、私も熱心に取り組んでいる姿を傍聴しました。安曇野市も初めて、私たちも初めての事業です。

### まずは

山の中に入って現状を見るのがとび出している木もあり、災害につながる心配があることを実感しました。また、林道宮沢線で崩落があり、林道は使用できず、その上の松は伐採できませんでした。振り返って見ますと、伐採木は

当初押野山の土取り場に大量に積み上げられていました。計画では、塩尻市に平成27年木質バイオマスプラントの発電所が稼働する計画でしたが、計画は大幅に遅れ、このまま置いておくと材木が傷み一部腐ってしまう心配が出てきました。

### この状況

を救ってくれたのは、松本担当者でした。長野市にあるバイオマス発電所へ搬送してくれたのです。この対応に安心をし、感謝を申し上げました。

### 市の里山再生計画

のパンフレットのの中に「里山の主体となる森林には、安全な暮らしを守る・地球環境を保全するといった様々な機能があります」と記されています。

私はできましたら市議会議員の皆さんが更新伐事業の現状を視察され、これからの里山再生に向けてともに知恵をしばっていただければうれしく思います。



### 編集後記

◆花火のルーツは、中国ののろし狼煙らしい。江戸時代に日本へ伝わったといわれている。まもなく安曇野花火が行われるが、日本では夏の風物詩となっているのは、鎮魂の意味があるのだろう。安曇族に始まったこの地の先人たちがいるからこそ、今があることに感謝しつつ、鑑賞したいものである。

委員 小松芳樹

◆6月中旬に大阪北部地震が起きました。「今後、より大きな地震災害が起きる切迫した状態にある。」これが、多くの専門家の認識です。私たちも今回の地震を他人ごととせず、「自分・安曇野市にも地震災害は起こる。」と改めて心し、それぞれのレベルで訓練・準備をしておきたいものです。

委員 臼井泰彦

### 議会広報特別委員会

委員長 林 孝彦 副委員長 井出勝正  
委員 小林陽子 臼井泰彦 遠藤武文 松枝 功  
増田望三郎 藤原陽子 小松芳樹 召田義人

### 9月議会 定例会のお知らせ

議会を聴きに行こう！議会を「あづみ野テレビ」で観よう！傍聴をご希望の方は、市議会議場（市役所本庁3階）へお越しください。無料の託児サービスは、事前予約でご利用いただけます。ご希望の方は議会事務局（71-2156）へご連絡ください。

日	月	火	水	木	金	土
						9/1
2	3 本会議 (開会)	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13 本会議 (一般質問)	14 本会議 (一般質問)	15
16	17 (敬老の日)	18 本会議 (一般質問)	19 本会議 (議案質疑・ 委員会付託)	20 委員会 (総務環境)	21 委員会 (福祉教育)	22
23 (秋分の日)	24 (振替休日)	25 委員会 (経済建設)	26	27	28 本会議 (閉会)	29
30						

開会時間は、本会議 10:00～ 委員会 9:00～  
日程や開会時間など変更となる場合があります。